

社会・人間・情報プラットフォームプロジェクト

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学社会科学研究所 公開日: 2013-05-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 夏井, 高人 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/15593

5. 大型研究

社会・人間・情報プラットフォームプロジェクト

研究代表者 夏井 高人

1. プラットフォームシステムの構築

テストベッドとして構築してきた判決情報データベースシステム及び法律情報データベースシステムの基本部分のプロトタイプは 2003 年度以前の段階で構築済みであったため、2004 年度には、この 2 つのデータベースシステムをプラットフォームシステム上で連動して稼働させるための技術的検討を行った。数度の会議を経て、タグの仕様等を見直し、技術構築を進めた上で再度テストを実施した結果、残念ながら、比較的大きな技術的問題が発見された。現時点でテストは成功していない。

このため、これまで蓄積されてきたデータベース用のデータを再加工し、プロジェクト終了後に法科大学院等でも直ちに利用可能なデータベースシステムのサブシステムを構築し、それ

を成果物として提出することとした。もしプロジェクトにおける研究が何らかのかたちで継続できる場合には、このサブセットを含む蓄積されたデータを用い、さらに関連技術の専門家の協力を得て、当初の研究目的を実現するための研究を更に推進したいと考える。

2. 関連する法律事項の研究

上記判決データベースのプロトタイプ構築の経過の中で、世界的なレベルで（判決情報に含まれる被害者や証人等の氏名等についての）プライバシー保護の必要性が高まっていることが判明した。また、判例データベースや法令データベースを商品として提供している商業データベース企業と無償のデータベースサービス機関等との間での紛争事例もいくつか報告されている。

そのため、2003年5月にSHIPプロジェクトの国際シンポジウムを開催し、この分野における国際的に著名な研究者であるクリス・パブリック氏（オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州プライバシーコミッショナー）及びハーバート・バーケート氏（セントガレン大学教授）等を講師及び討議者として招聘して研究と討議を実施した。その内容及び討議結果等は、2004年度の成果報告書として公開される予定である。

また、これらの問題について更に検討すると同時に、最先端の技術動向や関連する法律問題の調査を実施するため、プロジェクトメンバーが分担して、フィンランド（ヘルシンキ）、オーストラリア（シドニー）、カナダ（モントリオール）及び米国（ワシントン DC）等を訪問し、いずれも大きな研究成果を得た。

これらの調査結果は、従前に実施した海外調査の結果と併せて、最終成果報告書中で報告する予定である。